日本国際飢餓対策機構(Japan International Food for the Hungry: 略して JIFH) は、イエス・キリストの精神に基づいて活 動する非営利の民間海外協力団体 (NGO)です。1981年に誕生して以来、世界の貧困・飢餓問題の解決のために、自立開発協力、 教育支援、緊急援助、人財育成、海外スタッフ派遣、飢餓啓発などに活動を広げてきました。現在は、国際飢餓対策機構連合(Food for the Hungry International Federation) の一員として、20ヵ国 60の協力団体とともに、アジア、アフリカ、中南米の 開発途上国で、現地パートナーと協力しあって、「こころとからだの飢餓」に応える働きをしています。

世界食料デー支援

"Michael Bethany チャリティーコンサート in Japan'

◎ 2015年9月21日 紀 18 時開演~

会場:神の家族主イエス・キ リスト教会 (東京都足立区) ゴスペル界のカリスマ的存 在であるマイケル・ベサニー のコンサートです。 前売り¥3000/当日¥3500



チケット予約 mb.gospel.japan@gmail.com 共催 REACHOUT GOSPEL EVENTS 日本国際飢餓対策機構

◎ 9月19日出17:30~19:30 渋谷区第一セラゼンビル B1 でワークショップ ※参加者はコンサートでマイケル・ベサニーと 共演します。チケット ¥3500 問い合わせ mb.gospel.japan@gmail.com

Autumn Jazz Concert 佐脇武則カルテット + 堀北やこ

2015年11月22日(日)18時開演

場所:埼玉県鴻巣市

鴻巣文化センター (クレアこうのす) 小ホール

主催: AJC 実行委員会 後援:日本国際飢餓対策機構 出演: 佐脇武則 アルトサックス 掘北やこ ヴォーカル

前売り¥2500/当日¥3000 学生¥2000 ※ 9/1 前売り開始 〈Web 予約〉

http://www.confetti-web.com/ detail.php?tid=30298& 電話予約 0120-240-540

(平日 10:00 ~ 18:00)



ネパール震災被災者支援ボランティアチーム出発

ボランティアチームの一行は9月 9日深夜に関西空港を出発、9月10 日~19日、ネパールのカトマンズ、 シンドゥパルチョク郡、ゴルカ郡パ ルパック村などを訪問して被災者の 支援を行い、物質的、精神的に傷つ いた人々を励まします。



活動させていただくシンドゥパルチョク郡は震災の被害が最も大き く、3000人近い方が亡くなりました。また、ゴルカ郡パルバック村は今 回の地震のまさに震源地にあたる村だったために、村全体が多大な被害 を受け、家屋の90%以上の1.450件が全壊という状態です。

ネパール被災者支援募金は、ウエブサイトから。郵便振替の場合は、 記入欄に日本国際飢餓対策機構 ネパール地震と明記ください。

ハン サホ 大豪	: -	-3	7-	_7	2
	現	在·			
	3	9	6	4	E

今すぐ 各種支援の お申し込み ができます!!

に記入して、点線の 枠部分を切り取り八 ガキに貼って、下記 の大阪事務所宛に郵 送、又はこの頁をコ ピーして、ファクシ ミリで申し込みくだ • さい。確認のための 必要書類等を送らせ ■ ていただきます。

お電話でも申し込み ■ できます。各事務所 までおかけ下さい。

ハン	ガーも	ŽO • 1	サポ	ータ-	ع-	してホ	協力し	ます。
				_				

毎月()口 (1口1,000円)

□ チャイルド・サポーター(世界里親会)になり たいので説明書(申込書)を送ってください。

□ 海外スタッフ・サポーターとして協力します。

毎月()口 (1口1,000円) □ JIFHサポーターとして協力します。

毎月()口 (1口500円)

□ 郵便自動引落し申込書を送って下さい。

●まず右の必要事項 ■ □ その他の銀行自動引落し申込書を送って下さい。

FAX • 072-920-2155

■発 行 者 岩橋竜介

■発 行 所 一般財団法人 **日本国際飢餓対策機構**



フェイスブック

Webサイトアドレス http://www.jifh.org/ eメールアドレス general@jifh.org https://www.facebook.com/hungerzero

- ■募金方法 ※各種方法で随時受付中、詳しくは電話やウエブサイトで
- ●郵便振替 00170-9-68590 / 日本国際飢餓対策機構
- ●他の金融機関からの自動振替●クレジット、デジタルコンビニ

	6120
今すぐ 募金が ^{できます!}	e o

SHOP

VISA 🧠





〒581-0032 八尾市弓削町 3-74-1

TEL (072)920-2225 FAX (072)920-2155 〒101-0062 千代田区神田駿河台2-1 OCC ビル 517 号室 TEL (03)3518-0781 FAX (03)3518-0782 〒980-0012 仙台市青葉区錦町1-13-6エマオ2階E

TEL (022)217-4611 FAX (022)217-6651 〒460-0012 名古屋市中区千代田 2-19-16 千代田ビル3F TEL (052)265-7101 FAX (052)265-7132

〒 730-0036 広島市中区袋町4-8 CLC ブックス 2F TEL (082)546-9036 FAX (082)546-9037 〒900-0033 那覇市久米2-25-8 メゾン久米 202号

TEL (098)943-9215 FAX (098)943-9216 Ainote International c/o Mr. Takehiko Fujikawa 8010 Phaeton Dr. Oakland, CA94605

TE(510)568-4939 FAX(510)293-0940

1 分間に17人(内12 人が子ども) 飢えのために生命を失っています。

1日に2万5,000人

1年間では約1,000万人が

日本国際飢餓対策機構

No.302

わたしから始める、世界が変わる



希望をもたらすコミュニティの変革

日本国際飢餓対策機構 理事 横田法路 (日本イエス・キリスト教団福岡教会牧師)

今年3月にJIFHの岩橋理事長とともに台湾で開かれた 国際飢餓対策機構連合の総会に出席しました。元々は夕 イのチェンマイで開催される予定でしたが、急遽会場が 台湾に変更されました。その理由は、台南にVOC(コ ミュニティ変革プロジェクト) のモデルを見つけたため でした。元々は台湾の山地に住むブナン族という少数民 族の村でした。実際に訪問してみましたが、確かに、目 を見張るような素晴らしいコミュニティでした。

ブナン族は、日本の台湾占領期に山から下ろされ、平 地で暮らすようになりました。しかしそこには彼らの 仕事はなく、多くの人は毎日アルコールに溺れ、子ども たちも十分な教育は受けられず、他の人々からは侮蔑さ れていました。そこに一人の青年が神学校を卒業し、自 分の民族であるブナン族のコミュニティに戻ってきまし た。そこで彼は苦しんでいる自分の民の姿を目の当たり にし、心に痛みと苦しみを覚えながら、聖書に向かいま

聖書を何度も読む中で、イエスは現代のこの場所でも 奇跡を行ってくださると信じ、彼はその信仰をもって コミュニティ再生プロジェクトに着手したのです。それ

が、パイ牧師でした。

彼が最初に取り組んだのは、村の子どもたちを教会堂 に集めての教育でした。教育こそがコミュニティ再生の 力になると信じたからです。後にはブナン族の青少年の ための奨学金制度をつくり、大学にも送るようになりま す。また長い間美しい自然と共に生きてきた民族伝統の 知恵を生かし、薬草栽培や有機農業を始めます。さらに は、観光業、レストランやカフェの経営など様々の事業 を通じ、多くの雇用を創出していきました。そうした中 で、伝統音楽や舞踊も用いながら、ブナン族としての誇 りを取り戻していきました。今では、少数民族復興のモ デルケースとして、台湾国内外の注目を集めています。

このブナンコミュニティの変革は、一人の青年が信仰 をもって立ち上がったところから始まりました。飢餓、 貧困に苦しむ人たちが自らの可能性を信じて歩みだす 時、このような奇跡が起こるのです。私たちも世界各地 で行われている地域変革の活動に参加しようではありま せんか。どんなにその道が遠く険しいものであったとし ても。「わたしから始める。世界が変わる」



7月29日から8月7日、9名の参加者と共に、首都マニラやJIFHのパート ナー団体ハンズ・オブ・ラブ・フィリピン (HOLPFI) の活動地、ミンドロ島に あるシド村とプエルトガレラに滞在させていただきました。シド村での4日間 の滞在中、開発の手法の実践、村に住む原住民マンヤン・アラガン族の方々と の交流、講義などを通して、それぞれが多くの気づきを与えられました。また リゾート地プエルトガレラに移動し、マニラで路上生活や性的虐待などで虐げ られた子どもを保護し、都会から離れた環境の良い場所で社会復帰のための リハビリをおこっている施設で二泊。そこで、都市部と地方の貧困の問題につ いて学ぶことができました。(広島事務所:木村カナ)

現地の人々にとってよりよい開発を考える

【参加者の感想】

●近藤史門さん(大学生)

タートレーニングキャンプを通し 銘を受けました。 て、地域開発の現場を間近に見 とは何事にも代えがたい貴重な 経験でした。お金やモノをあげる は少し前からぼんやりと理解し始 のような支援が行われているのか までは分かっていませんでした。

状況改善ではなく問題解決

た。たくさんのことを学ぶことが

できましたが、個人的には"状況 満足感を感じたかったからなのか の改善でなく問題の解決を目的ともしれません。 今回のフィリピンファシリテー した支援"という考え方に特に感

改めて考えてみると、自分がこ て、聞いて、感じて、体験できたこれまでに良かれと思ってやってき た事の多くも、実は一時しのぎで しかなく、実際には現地に依存の だけが支援ではない、ということ 心を植え付ける行為だったのでは ないかと反省させられました。本 めていましたが、実際に現場でど当に自分はその地域や人々のこと を分かってあげているのだろうか と深く考えさせられ、自分の未熟 さも感じました。どうしても自分 はフィールドにいると現地の方々ば、現地の人々のためにきっかけ 実際に現地スタッフの方々とも に対して "こうしたらいいじゃな 一緒に行動し、多くの考え方の違いか""なんでこういうふうにやら いなどと向き合いながら献身的に ないんだ" と思ってしまい、"あ 根気強く働いているスタッフの皆 れをしてあげたい""これをしてあ さんの姿を見、とても感動しまし げたい"と思ってしまいがちです。 自分が何かをやってあげたというた。



信じて待つこと

しかし、今回の経験を通して、本 当に現地のことを思っているなら を作り、あとは彼らが自力で成し 遂げていくことを "信じて(辛抱強 く)待つ"ということ、この大切さ を現地で知ることができたことは 自分にとって大きな糧となりまし

今回のファシトレではコミュニ ティ変革の基本やファシリテー ターとしてのコミュニケーション 方法、聖書的世界観の重要性など を学ぶことができて、どうしたら "あげるだけ援助"から脱却でき るのかを知ることができたような 気がします。たくさんの貴重な経 験をさせていただき感謝でした。



ラテンアメリカの多くの国々の課題 の一つは、人々の健康状態が悪いこ とです。それがその国の貧しさの指標 にもなっています。国連の統計をみて いくとボリビアが南米で最も貧しい国 であることがわかります。そしてこれこ そ私たちIIFHがボリビアで活動をさ せて頂いている理由なのです。

例えば1,000人当たりの乳幼児死 亡数はボリビアが31人、と南アメリカ 大陸の国々の中で最悪の状態です。 (注1)また5歳未満の死亡数はボリビ アでは1,000人中39人: ちなみにペ ルーは17人、日本では3人となってい ます。(注2) そしてJIFHの支援地域ア サワニ地区では1.000人中150人、リ オカイネ地区では70人とたいへん高 くなっています。その死因の第1位は 慢性栄養不良です。5歳以下の慢性 栄養不良の割合がこの地域では50% 近くにも達しているのです(注3)。

これは貧困のゆえに起こっている 悲しい現実です。このことから、JIFH の協力団体であるFH ボリビアでは "2020年までにFHボリビアが活動 している地域の子どもの慢性栄養不 良をゼロにする!"という目標を掲げま した。支援を進めて行く中で、私たち は特に5歳以下の子どもに対しての保 健・栄養指導を強化しています。その ために家族全体に継続的に関わって いき、十分な栄養状態で育てることが 子どもの発育にたいへん重要だという ことを伝え、実践して頂くよう勧めて



駐在 小西小百合

います。

私たちは子どもの教育及び地域の 自立開発支援をボリビアのチャヤ地 域で12年間行ってきました。その後、 2012年から同国の新たな2地域で活 動を進めて4年目になりますが、私が 今までの活動を振り返って今最も強く 感じることは、"継続支援の大切さ" です。継続することによりFHボリビ アのスタッフと共に目標を掲げて長期 的かつ有効なプランを立てて進めて行 くことができるからです。

貧しさゆえに母子ともに十分な栄養 を取ることができず、また不衛生な環 境で病気にかかって命を落としていく 赤ちゃん。また街の子どもたちと比較 にならないほど身長・体重だけでなく 脳の発達にも支障をきたしている田舎 の厳しい環境で暮らす子どもたち。こ の目の前にいて苦しんでいる、そして 一生懸命生きている一人の子どもが、 もし自分の子ども、また弟・妹だった ら、"何としてでも助けてあげたい!" と思うのではないだろうか…。そう思 わされました。自分にできることは小



さなことかもしれ ないけれど、"まず この一人に手を差 し伸べる"活動を これからも続けて 行きたいと願って います。

「彼は貧しい人々に惜しみなく分け 与えた。彼の義は永遠に堅く立つ。 その角は栄光のうちに高く上げら れる。」(聖書)

> 参考資料: (注1,2) UNICEF 2015 (注3) FH Bolivia 2014



1981年、世界の食糧問題を考える日として国連が制定した 日、それが10月16日「世界食料デー」です。世界の一人ひとりと 協力しあい、世界に広がる栄養不良、飢餓、極度の貧困を解決 していくことを目的としています。この日をきっかけとして、自分 自身の生活を見直し少しでも世界の人々と共に生きる生き方を 実践しようとする人が増やされていくことが「世界食料デー」の 願いです。日本国際飢餓対策機構もこの趣旨に賛同し、同じ思 いを持って協労する全国の人々と共に行動してきました。今年も 全国23ヵ所で「世界食料デー大会」が開催されると共に、ご家 庭で、学校で、職場で、教会でさまざまな取り組みが行われよう としています。(啓発総主事:田村治郎)



2015 WORLD FOOD DAY

生まれてきたのは、生きるため

…あなたの愛の手がその子のいのちを救います…

も続けて途上国で懸命に生きる子 どによる拉致や誘拐や人身売買の います。 どもに焦点を合わせています。

飢餓、貧困の中の子どもたち

と1.500万人もの子どもたちが紛の給食支援を行います。特にコンしていくことを応援します。

JIFH世界食料デー今年のテー 争や武力衝突に巻き込まれ、2億 そのコミュニティが自立できるよ 対象とされ、子ども兵士などとし て利用されていきます。

ゴ民主共和国では もが家族が、そしてきたいと願います。

マは、「生まれてきたのは生きるた 3.000万人もの子どもたちがその うに励まします。これらの活動に め…あなたの愛の手がその子のい 影響下の国や地域に住んでいると 賛同してくださる人々の輪を全国 のちを救います…」と題して、今年 言われています。またテロ組織な にさらに広げていきたいと願って

平和の担い手を育む

せっかく生まれてきながら、生子どもはその国の宝であり、そ 途上国に生きる子どもたちを取 きるのに極度の困難を覚えていま のコミュニティ、国の将来を担う り巻く環境は、現在もなお危機的す。この状況を何とか解決したい大きな希望です。それゆえに子ど な状況です。食べるものが十分な との強い思いを、各世界食料デー もたちが教育の機会を得て基礎学 く飢餓が原因で命を落とす子ど 大会の実行委員の皆さんと共有 力を習得、自立を支援することに もたちは、5秒に1人、1分間には し、今回の募金を用いて、貧困のゆ とどまらず、この子どもたちが将 約12人、1日では19,000人、1年で えに教育を受けられない子どもた 来それぞれの持ち場立場で国を背 はおよそ700万人にも上っていま ちへの教育支援、空腹のために集 負って立ち、平和を実現し善隣共 す。また、ユニヤフの報告による。中して勉強できない子どもたちへ、生を実践するリーダーとして成長

> ぜひ、各地で開催されます世界 紛争に巻き込まれて 食料デーにお越し下さり、このよう 逃れてきた子どもたな子どもたちが一人でも増やされ ちの新しい地での ていくように途上国の子どもたち 生活再建、その両親 へのサポーターとなって、受けるよ に対する職業支援りも、与える方が幸いという、分か を通して、その子ど ち合う喜びに共に加わっていただ

募金は、主に以下のプロジェクトに用いさせていただきます ●ルワンダ:ピースインターナショナル学校支援 ●ケ ニ ア:シープケア学校給食支援

- ●南スーダン:ルンベック・マブイ学校給食支援
- ●パキスタン:カラーシャガールズホステル教育支援
- ●フィリピン:ハンズ・オブ・ラブ・フィリピン自立開発・教育支援
- ●コンゴ民主共和国:国内避難民支援
- ●その他

2014年 世界食料デー報告

昨年も全国の方々から、15,508,539円のご支援をいただき、貧困や困難な環境の中で生き る人々・子どもたちを支援する学校給食や教育支援、難民支援のために使わせていただきまし た。その中から3ヵ国の活動概要について報告させていただきます。

ケニア 「食糧支援・地域リーダー育成」

ケニアでは、2011年の東アフリカ大旱魃に端を発する食料価 格の高騰が、貧富の格差増大に拍車を掛けており深刻な問題を 抱えています。貧困層の人々が暮らすスラムでは、不安定な雇 用状況の中、1日2ドル以下で生活している家庭がほとんどで す。HIV/AIDS の影響もあり、親を失くした子どもたちの多く は、虐待を含む過酷な状況にさらされています。やむなく路上

こうした子どもたちに学校教育と給食を提供し、子どもの育

に出て生活する子どもも多く、教育の機会は限られています。

成を通して地域の状況を改善しようと地域の人々が運営しているのがシープケア学校です。日本国際飢餓 対策機構は、2011年からこの学校の給食支援をしています。2014年度は約750名の生徒の給食支援と共 に、特に過酷な状況にある約100名の教育支援を行い学習の継続をサポートしました。

コンゴ民主共和国 「国内避難民と地域開発支援 |

コンゴ民主共和国は、1960年6月にベルギーから独立。 1997年まで独裁政権が続きますが隣国ルワンダで起きた大虐 殺を発端として、1996年に一連のコンゴ紛争が起きました。 2002年末には和平合意が行われましたが、東部地域では依然部 族間の対立が続き、天然資源を巡る武装勢力同士の対立や周辺 国の介入等により不安定な情勢が続いています。2012年の人間 開発指数は世界187ヵ国中186位の最貧国です。

国内避難民の再定住支援

2012年末の部族対立により、比較的安全なコンゴ民主共和国

の都市ルブンバシへ逃れてきた国内避難民の方々を支援するため、日本国際飢餓対策機構は現地パート ナー団体のハンズ・オブ・ラブ・コンゴと共に、2013年7月から国内避難民136人への食料支援、人財 育成、定住・農業支援等を行なっています。

ボリビア多民族国 「学校教育と地域開発支援|

南米で最も貧しい国ボリビア。自然環境の過酷なアンデス山中の高地に生きる人々や、十分な教育を受け ることができない子どもたち、慢性栄養不良に苦しむ多くの人々が今も厳しい貧困の中で暮らしています。

日本国際飢餓対策機構は、駐在員として小西小百合を送り現地パートナーの国際飢餓対策機構ボリビア と協力して2012年1月から標高約3.250mの高地アサワニと1.800mのリオカイネという2つの地区で子ど



もの教育支援と地域開発支援を行なっています。地域の子どもたち に学用品や教科書の提供、健康調査を行い寄生虫予防指導やビタミ ン剤を提供して学校での学習を促進し、子どもたちが健康的に生活 できる環境を整えています。

2014年度は支援の対象となる子どもを335人に拡大しました。 2015年度には、教育支援を継続しながら、家庭菜園・学校菜園や食 用魚の養殖等を通して、子どもたちの栄養改善と家族の収入向上を 目指します。

4 JIFH NEWS LETTER JIFH NEWS LETTER 5

2015世界食料元-大会開催日程

	大 会	事務局TEL	開催日	時間	主な内容	会 場
宮城	仙台	022-217-4611	10/17	13:30	講演(NPO 萌友理事長 芳賀ヒロ子) (JIFH 東北事務所 伊東綾)	日本聖公会 仙台基督教会
千葉	柏沼南	03-3518-0781	10/24 🕀	14:00	講演(JIFH 田村治郎) フェアトレード物販 現地報告(JIFH 酒井慶子)ほか	みふみバブテスト教会
東京	WFD フェスティバル	03-3518-0781	10/18 🗐	10:00	食品、展示型ブース、ゲストパフォーマンス	葛西臨海公園
神奈川	湘南	03-3518-0781	10/17	13:30	講演·現地報告(JIFH 酒井保) 落語(入船亭扇海)	茅ヶ崎市民文化会館内 レストラン「ちそう」
愛知	名古屋	052-265-7101	10/17	14:00	講演・現地報告(JIFH 特命大使近藤高史) 音楽(ポルタメント小牧)	名古屋文化短期大学・アッセン ブリーホール
	北大阪	072-622-5367	10/7®	19:30	講演 (JIFH 田村治郎) 現地報告 (JIFH 酒井保) 音楽(クワイア&アンサンブル)	茨木キリスト福音教会
大阪	南大阪	0725-22-3585	10/17	14:00	講演・現地報告(JIFH 吉田知基)音楽(泉大津市少年少女合唱団、忠岡ウインドアンサンブル)	テクスピア大阪 大ホール
∠ MX	八尾河南	072-920-2225	10/18 🗐	15:00	講演(JIFH 田村治郎) 音楽(JIFH 親善大使(ナイト de ライト)	八尾市生涯学習センターかがやき
	東大阪	072-964-5144	10/21 🕸	19:30	講演(JIFH 田村治郎) 活動報告・音楽(バルナバプロジェクト)	大阪シオン教会
京都	WFD フェスティバル	03-3518-0781	10/18 🗐	10:00	食品、展示型ブース、ゲストパフォーマンス	梅小路公園
N/Hh	京 都 ^{洛都祭}	03-3518-0781	10/3⊕	未定	講演(JIFH 吉田知基)音楽(竹下静ほか)	新風館 Re-Que ホール
奈良	奈良 ファミリーフェスタ	072-920-2225	11/3®	14:30	現地報告(JIFH 酒井慶子) 音楽(JIFH 親善大使 小堀英郎)	キリスト兄弟団 大和教会
和歌山	和歌山	073-473-0424	10/4 🗐	14:00	音楽(JIFH 親善大使 Manami ※予定)	和歌山シオン教会
兵庫	芦屋	0797-31-2093	10/18 🗐	14:00	講演(JIFH吉田知基)現地報告(JIFH 酒井保) 音楽(芦屋福音教会等)	芦屋福音教会
広島	広島	082-546-9036	11/1 🗐	15:00	講演(JIFH田村治郎)、音楽(JIFH 親善大使 Manami、三滝グリーンチャペルゴスペルクワイヤ)	広島 YMCA 国際文化ホール
高知	須崎	03-3518-0781	10/22 ★ 10/23 ⊕	19:00 10:00	音楽(本田路津子コンサート 22 日のみ) 講演・現地報告(JIFH 田村治郎)	須崎市立市民文化会館
福岡	北九州	093-672-5347	10/17 (#)	14:00	講演(フードバンク北九州ライフアゲイン原田昌樹) (JIFH 鶴浦弘敏)(NPO 抱僕 奥田知志)ほか	COMCITY 7F 子どもの館
鹿児島	鹿児島	03-3518-0781	10/2 🎕	19:00	講演(JIFH田村治郎)、現地報告(JIFH 酒井保) ゲストほか未定	サンエールかごしま
	南部		10/10 🕀	16:00	講演·現地報告 (JIFH酒井慶子) 音楽(東江千鶴)	沖縄産業支援センター
	中部	098-943-9215	10/11 🗎	16:00	講演·現地報告 (JIFH酒井慶子) 音楽 (東江千鶴)	嘉手納町中央公民館
沖縄	久米島		10/14 🕸	19:00	講演· 現地報告 (JIFH酒井慶子) 音楽(JIFH 親善大使 Manami)	具志川農村環境改善センター
/中/市电	八重山	030 340-3210	10/15 ⊕	19:00	講演· 現地報告 (JIFH酒井慶子) 音楽(JIFH 親善大使 Manami)	石垣市健康福祉センター視聴覚室
	北部		10/16 🎕	19:00	講演·現地報告 (JIFH酒井慶子) 音楽 (東江千鶴)	名護市労働福祉センター
	宮古		10/17	16:00	講演· 現地報告 (JIFH酒井慶子) 音楽(JIFH 親善大使 Manami)	城辺公民館

※日程・会場など変更する可能性があります。事前に各大会事務局あるいは東京事務所までお問い合わせください。※ JIFH= 日本国際飢餓対策機構





《JIFH講演·現地報告者》

- ◆田村治郎 啓発総主事
- ◆近藤高史 特命大使
- ◆伊東 綾 東北事務所
- ◆吉田知基 広報担当
- ◆鶴浦弘敏 広報主任



吉田知基

《JIFH親善大使》

♪ Manami (歌手) 〈沖縄大会ほか〉 ♪小堀英郎(ピアニスト)〈奈良大会〉 ♪ナイトdeライト(ロックバンド)〈八尾河南大会〉

◆酒井慶子 元フィリピン駐在







「東アフリカのケニア」6・10月

笑顔の子どもたちは、首都ナイ

ケア学校に通っている生徒です。 子どもたちの家庭の多くは1日の

収入が2ドル以下、電気も水道も

ない厳しい環境の中で生活してい

る給食を食べることができます。

この給食が1日で唯一の食事にな

る子どももいるのです。この給食

ムビジネスによるカレンダー販売

気に学校で学び、将来の夢や希望

お願いいたします。

多くの皆様にご愛用頂いており ます国際協力カレンダー「地球家 ロビ郊外のスラム街にあるシープ 族」が出来上がりました。

2016年のテーマは「食」。基本 的人権の一つである「食べ物」が 十分に与えられるよう、JIFHがさ まざまな形で支援を行っている 国々の子どもたちの笑顔が、毎月 のページを飾ります。

このカレンダーを通して、私たち ます。でも学校に行くと、支援によ の「地球家族」であり、世界の将来 の希望である子どもたちの生活の 様子の一部を知っていただき、開 発途上国の人々への関心と理解を は1食約30円。協力企業キングダ 一層深めていただければ幸いです。 そして、飢餓と貧困に苦しむ人々へ収益の一部がこの給食支援などに の支援の輪がいっそう広がってい使われます。子どもたちが食べて元 きますよう願っております。

カレンダーの内容の一部をご紹が実現できるように、ぜひご協力を いたします。

お申込はこちらから

● ★日本田原版無対策機構



販売価格 税込1.080円(送料別)

株式会社キングダムビジネス

〒540-0026

大阪市中央区内本町1-4-12NPOビル402 TEL:06-6755-4877

FAX:06-6755-4888

Web:カレンダー通販キングダムで検索 「カレンダー申込」から

- ★早期申込がお得です。先着100名 様には、カレンダーに掲載している、 みなみななみさんのかわいいオリジナル キャラクターのしおりをプレゼント!
- ★10部以上まとめてお申込みいただ くと販売価格より最大30%割引の特 典があります。送料など詳細は上記 にお問い合わせください。

尚、お届けは10月から順次行います。

WFD2015「あなたの1食分の募金」にご協力ください。子どもたちの給食や教育支援等に用いさせていただきます

◆酒井保 ハンズ・オブ・ラブ・フィリピン代表

て地域開発支援プログラムを担当、現在に至る。

従事、主にスタッフトレーニング、識字教室を担当。

1993年より人財育成、緊急支援活動要員として活 動。2008年よりフィリピンに派遣されミンドロ島に

2008年4月よりミンドロ島で総合的な村落開発に